

総合単元名	自然とともに生きる	9月～12月	全11時間
めざす子ども	身の回りの自然を愛し、それを大切にしていこうとする子	中心項目	3- (2)
ねらい	人間と自然や動植物との共存の在り方を考え、自分にできる範囲で自然環境をよくしようとする態度を育む。	関連項目	4- (4)

単元設定の理由

児童は、年度初めから一人一鉢の世話をを行っている。また、総合的な学習の時間には、1学期に野々浜環境調査隊として地域の環境に着目し、さらに地球規模の環境問題についても調べ考えをもっていった。しかし、自然環境をよくしようと日々の生活の中で考え、主体的に行動するまでには至っていない。そこで、この学習プログラムを通して、自然の偉大さを知るとともに自然環境と人間の営みが深く関わっていることを考え、自分にできる範囲で自然環境をよくしようとする態度を育てたいと考え、本単元を設定した。

時期	教科・特別活動 総合的な学習の時間等	道徳の時間	常時活動 家庭との連携	子どもの意識の深まり
9月	①総合的な学習の時間 9月(1時間) 「地球の環境を考えよう-マイ・エコライフ-」 1学期に学習した環境問題について振り返り、身近な自然環境保護に向けての取り組みについて考えることができる。	②<自然愛、環境保全> 3-(2)9月(1時間) 「漂流ゴミのゆくえ」 漂流ゴミをなくすためにできることは何かを考えることを通して、環境を大切にするためには普段の生活から自分ができることをすることであると気づき、自然を大切にしていこうとする心情を育てる。	★(一人一鉢) 自分の花の世話をすることで、身近な自然を大切にしようとする気持ちを高める。	①自然環境を守っていくにはどうすればいいかな。 ②人間に便利だからと言って環境を壊したり動物を傷つけたりしてはいけないいな。自分には何ができるだろう。 ★まず、自分の鉢の花から大切に育てていこう。 ③大きな工場でも環境に気を配りながら仕事をしているんだな。大事なことだな。 ④人の役に立つのはとてもいいものだな。自分が何かすることで、助かる人はいるものだ。自分も誰かのために何かできることをしていきたいな。 ⑤リサイクル工場や排水場など、作った後にゴミが出ないようによく考えて工場ができているんだな。ゴミが出る前にできることもあるな。
10月	③学校行事 10月(3時間) 「社会見学」 JFE、三菱自動車工場を訪れ、環境をできるだけこわさないような配慮をしたもの作りをしていると知ることができる。	④<勤労・奉仕> 4-(4)10月(1時間) 「ボランティアクラブに入って」 「また、来ます。」と言った優香の気持ちを考えることを通して、人の役に立つよさに気づき、社会に奉仕する喜びを知り、進んで公共の役に立とうとする心情を育てる。		
11月	⑤社会科 11月(1時間) 「工業の発達とわたしたちの暮らし」 自動車生産の課程を学習し、環境に配慮して製品を作っているよさをつかむことができる。	⑥<自然愛、環境保全> 3-(2)11月(1時間) 「カブトガニを守れ」(本時) 土屋さんの「美しい自然を残そう。」という言葉聞いたぼくの気持ちを考えることを通して、自然の偉大さを感じ、人間一人一人が自然環境を守ることの大切さに気づき、自然を大切にしようとする態度を育てる。	■家庭生活 環境にやさしい生活の仕方を進んですることができる。	⑦自分がしたことでは少しは野々浜の環境はよくなってうれしかったよ。これからも自分にできることを少しでもやっていこう。 ■家でも、風呂の残り湯を使ったり、ゴミを減らしたりするなど、自分ができていることをしていこう。
12月	⑦総合的な学習の時間 12月(3時間) 「地球の環境を考えよう-マイ・エコライフ-」 地域の清掃活動を行い、自分ができるところで環境をよくしようという気持ちをもつことができる。	身の回りの自然を愛し、それを大切にしていこうとする子		

--	--	--	--	--